

# 民進代表選

## 共闘へ悪影響懸念

# 3野党も注視

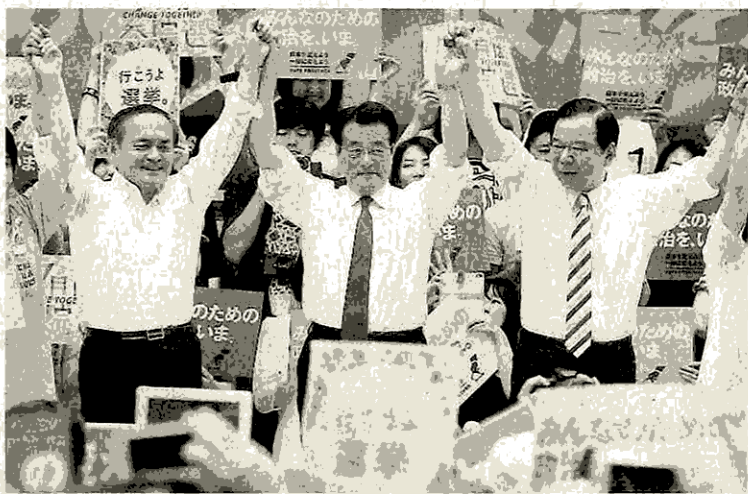
先の参院選に民進党と野党共闘で臨んだ共産、社民、生活の3党が民進党代表選(9月15日投票)の動向に神経をとがらせている。代表選の主要な争点として、次期衆院選に向けた野党共闘継続の是非が浮上しており、結果次第では共闘が打ち切られる可能性も出ているためだ。

「来たるべき総選挙で野党共闘をさらに発展させる。総選挙でもできる限りの協力をすることは、(野党)4党首会談でも繰り返し確認している公党間の約束だ」

共産党の志位委員長は5日、東京都内での講演で、次期衆院選での民進党との共闘強化が「公党間の約束」

街頭演説を終え、笑顔で手を取り合う(左から順に)社民党の吉田党首、民進党の岡田代表、共産党の志位委員長(6月、東京都千代田区)

### 蓮舫氏 明言控える 長島氏 否定的



「に基づく既定路線である」とことを強調した。背景には、共闘路線を進

めてきた民進党の岡田代表が党代表選に立候補しない方針であることから、「約

束」がほごにされかねないという懸念がある。民進、共産両党幹部には「野党共闘は岡田氏と志位氏の個人的な信頼関係があればこそ、短期間で結実した」との見方が多い。実際、志位氏は岡田氏について「信頼関係を持つことができたし、敬意を持っている」と高く評価している。

党代表選に立候補を表明した蓮舫代表代行は野党共闘について、次期衆院選で共産党とともに政権を目指す可能性を否定する一方、「これまでの基本的な(選挙協力の)枠組みは維持する」と述べるなど、「あいまいな姿勢」(民進党ベテラン)を見せている。

また、代表選への立候補に意欲を見せる保守系の長島昭久・元防衛副大臣は「民進党の主体性を失った形での野党共闘は転換すべ

きた」と共闘に否定的だ。志位氏は5日の講演で、「(参院選1人区32選挙区のうち)28で統一候補の得票が4野党の比例票の合計を上回った。共産党と組むと票が逃げる」という議論は取り越し苦労だった」と共闘の成果を強調した。

生活の党の小沢共同代表も、「野党が協力しなければ、次の衆院選で勝てるはずない」と繰り返し主張している。社民党幹部は「共闘をやめれば、選挙に負けて民進党がなくなるだけだ」と語り、民進党内の「反共闘勢力」をけん制した。